

AI新時代の ビジネス、 組織、 働き方

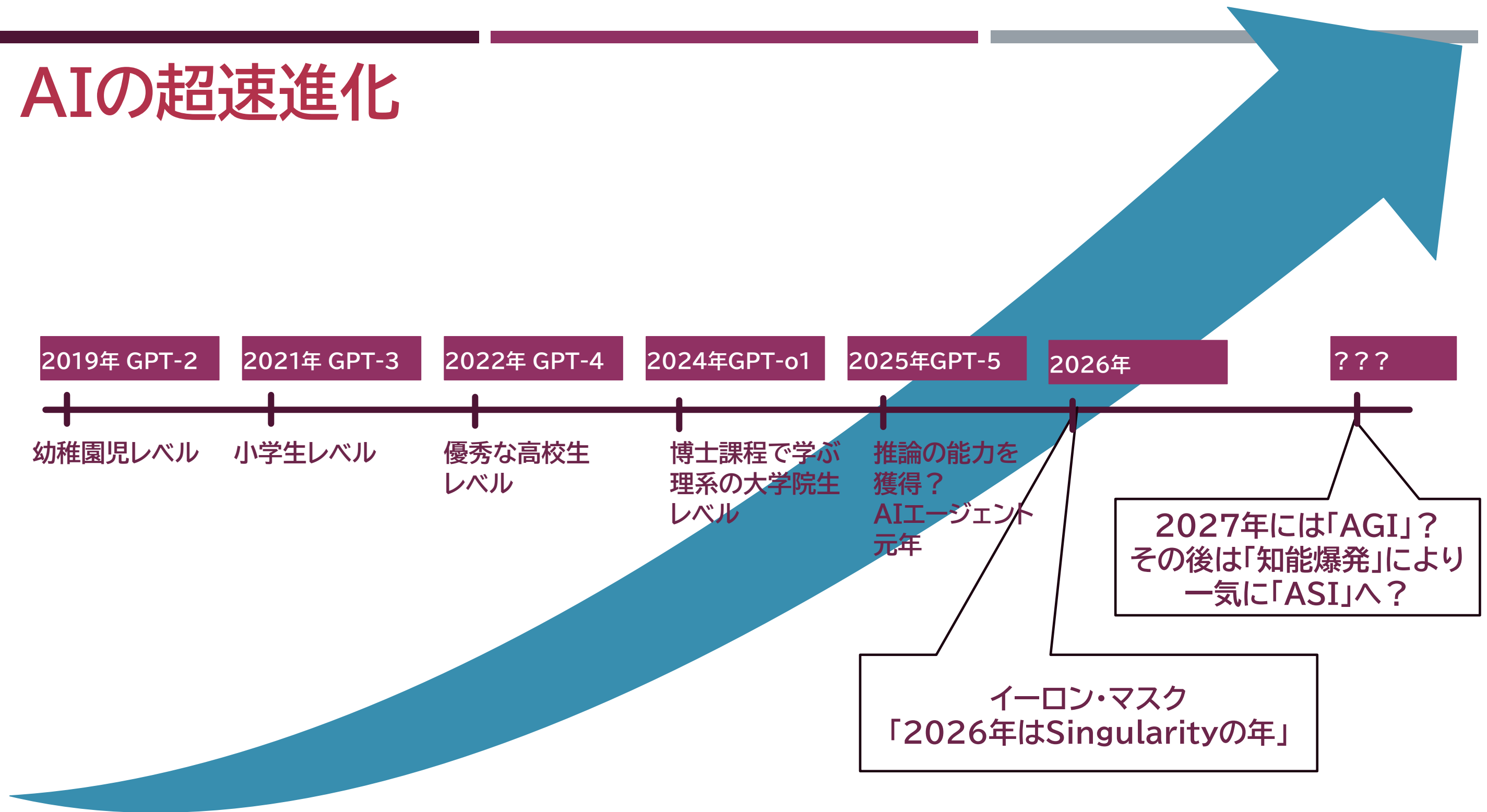
株式会社エクサウィザーズ
はたらくAI&DX研究所／

石原直子
260120

ついにビジネスの平場にAIがおりてきた

そしてものすごいスピードで進化している

AIの超速進化



出典:レオポルド文書(2024年6月)を元に石原作成

仕事の現場はどうなるのか？

もっとも影響を受けるのはホワイトカラーワーカー

ホワイトカラーワーカーの仕事モデル



仕事の現場はどうなるのか？

もっとも影響を受けるのは現場のホワイトカラーワーカー

ホワイトカラーワーカーの仕事モデル



AIネイティブ企業ではさらなる変化も



AIが、AIにしかわからないやり方で作業

現在起きていること

人間に最適化された
業務プロセスに
「部分的に」AIを投入

AI新時代に起きること

AIに最適化された
業務プロセスをAI自体が
「新規に」設計
(人はAIにできない部分だけに介入)



この変化が起きることを、認めなくてはならない

変わる働き方、変わる役割

2つのAIによって 知的生産性が 爆速で向上

- 個別業務は場面ごとに複数のAIエージェントを利用しつつ
- 自身に最適化されたAIアシスタントとの対話で思考を深め、より高度な提案や解に初手から到達

プロフェッショナルの 増加

- 単独でできる仕事の増加
- 大量の仕事を複数人で「分割する」必要性が縮小し、誰もがAIを率いて「他の人と異なる仕事」をすることに

意思決定権の 分散化

- 現場の業務スピードが向上し、ボトルネックが「意思決定の遅さ」に
- 現場で決めて現場で試す（もちろんw/AIで）力のある組織が最も早く進化する

管理職の役割変化

- 消えるマネジャーと残るマネジャーに二極化
- 残るマネジャーは部下のアウトプットの最大化をサポートできる人

より上流はどう変わるか

AIに最適化した ビジネスモデルの実現

- すべてAIがやるビジネスモデル／ビジネスプロセスの設計

AI-人間の協働のための ワークプレイスの創造

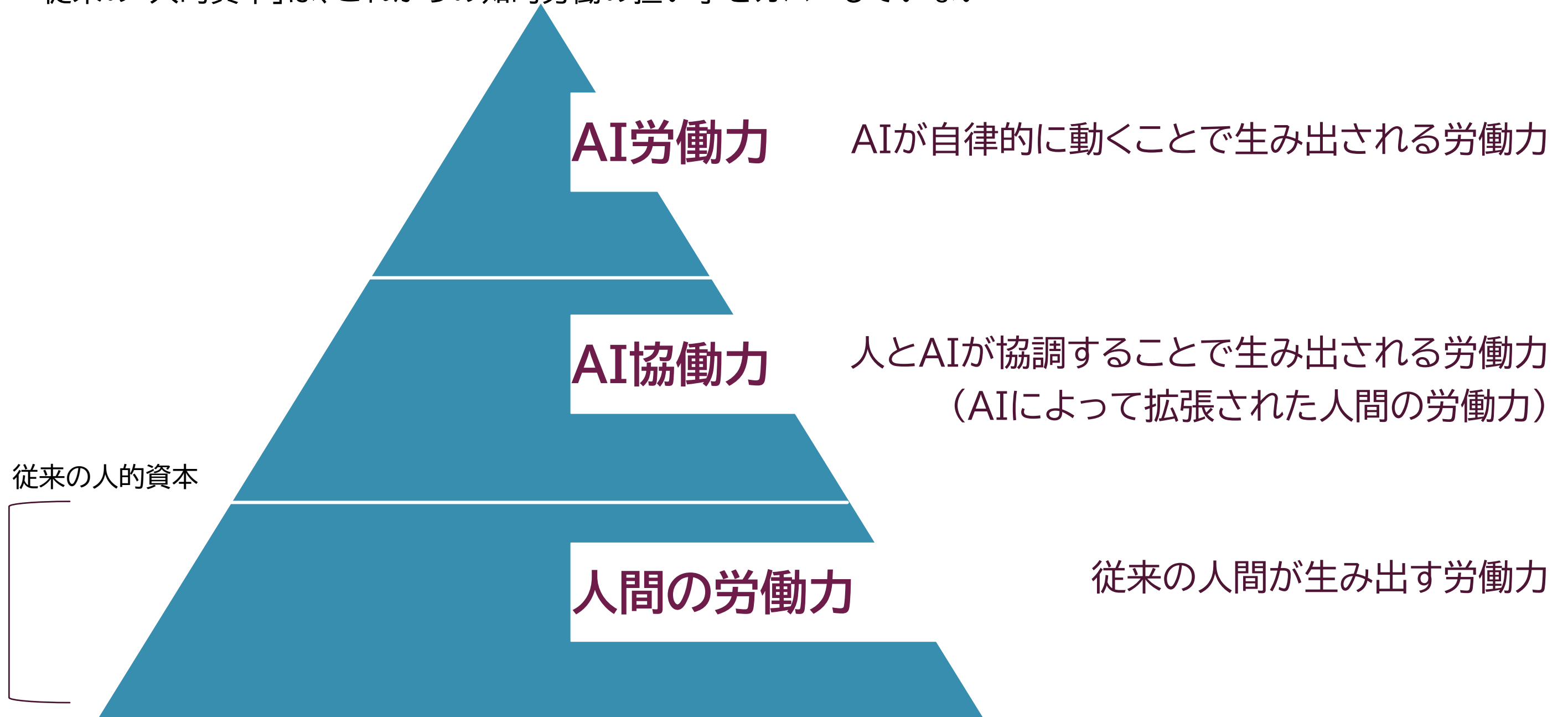
- AIと人間がシームレスに協働できるオフィス・クラウド空間・社内データ環境が必要に

「AI人的資本」という 新たな概念の登場

- 生身の人だけでなく、AIと協働して得られる力、AIが単独で生み出す力、これらも含めて競争力の源泉に
- 人的資本をこえて「AI人的資本」を前提とした経営に

AI人的資本

従来の「人的資本」は、これからの知的労働の担い手をカバーしていない



AI人的資本経営の時代へ 日本には必然性がある

労働力人口の減少



人手の要らない会社になる



AI新時代の始まり



徹底的に機械を活用する

Do More With Less の哲学が、日本企業の経営においては非常に重要に

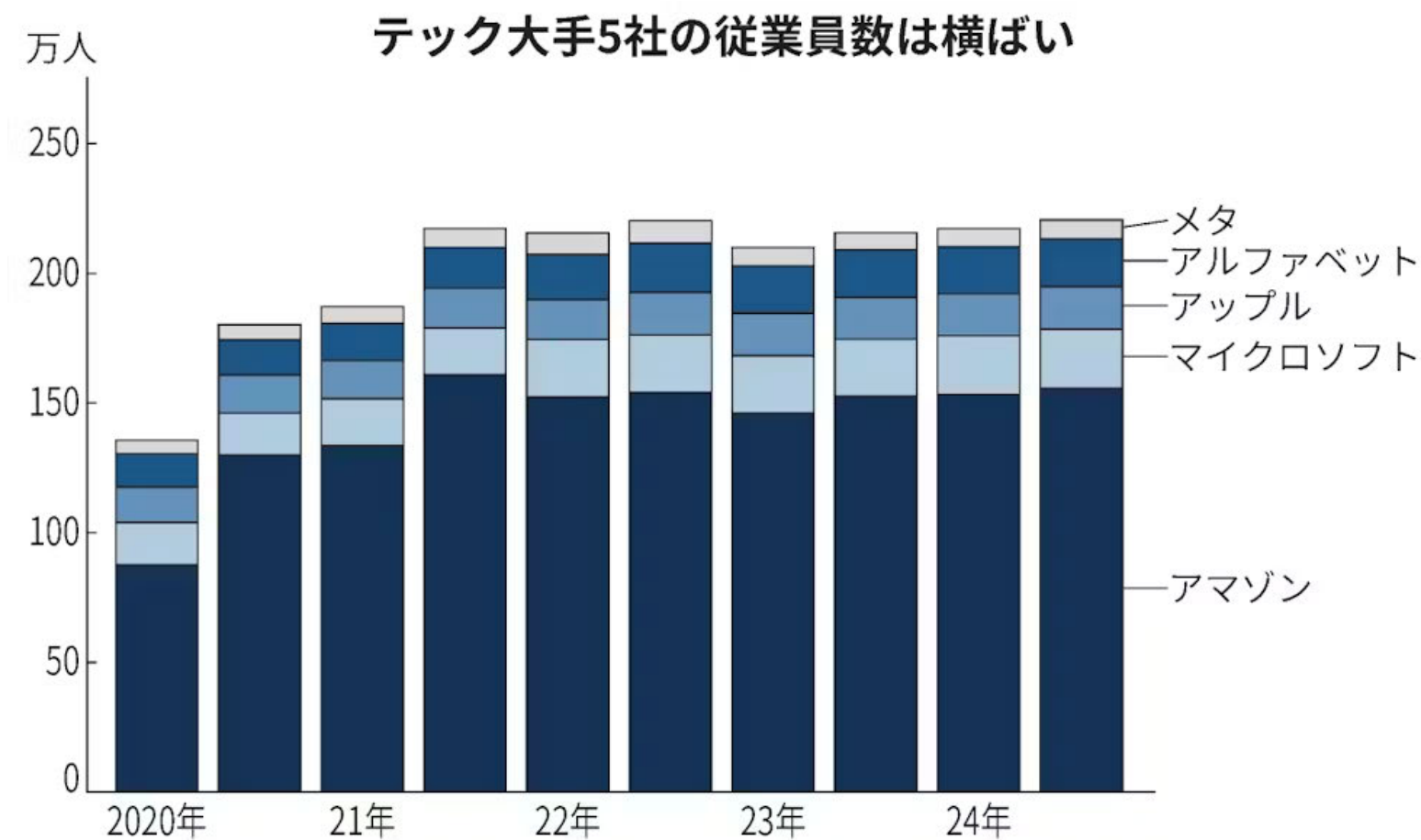
「事業規模が増えれば、社員数は増える」時代が終了する？

- Open AIのサム・アルトマンは「10人ユニコーン企業」「1人ユニコーン企業」は遠からず生まれると明言
- NYの動画生成AI企業「Runway」の社長は「100人を超えないように管理」と発言

より多くのことをより少ない人数でやるのが
DO MORE WITH LESS

(是か非かではなく、必然の未来)

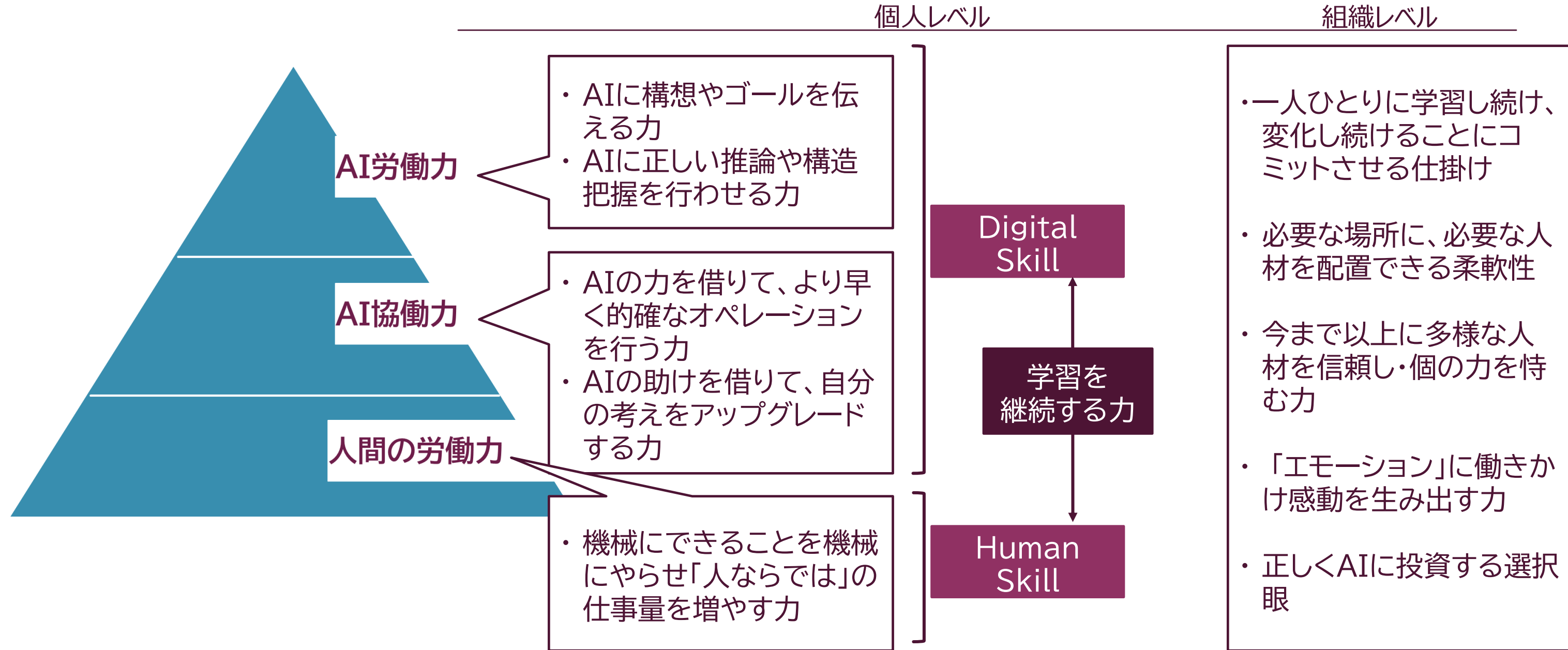
アメリカではテック企業を中心に雇用人数の横ばい化が始まっている そのなかで最も影響を受けているのは「エントリーレベルの人材」



出所：日本経済新聞（2025年6月19日 <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOGN187OT0Y5A610C2000000/>）

AI人的資本経営に必要な組織能力

AIを使いこなし、人ならではの仕事をやる個人能力と、AIと人の適材適所を実現する組織能力が必要に



AI新時代に 働く一人ひとりが向き合わなくてはならない問い

できるAIとの共存

「やりたくないこと」を
すべて機械に任せるための、
機械操縦力を持っているか

「やりたくないこと」を
すべて機械に
任せられるとなったとき、
そもそも「やりたいこと」を
持っているか、みつけられるか

人ならではの力の涵養

人間のやる「ショボい」仕事は、
AIでもできる
人間のやる「卓越した仕事」が
できるようになるには…??